

# 麗気烈風

令和4年1月17日(月)

文責 村田和人

～ 教育は「共育」「協育」「強育」で ～

## ～ 【 人生は心の持ち方一つ 】 ～

既にニュースで報じられていますので、保護者の皆様もご存じだと思いますが、東京で大変な事件が起きました。大学入試センター試験会場で、受験生が襲われ、3名の負傷者が出た事件です。この日のために受験勉強に打ち込んできた被害者は、なぜ自分がこんな目に遭わなければならないのか、憤懣やるかたない気持ちだったと思います。しかも続報によれば、犯人は17歳の少年で、犯行理由が東大医学部を目指していたが、最近成績が落ちて悩んでいたため、どうか。

医者を目指す者があろうことか人を殺めようとするなんて、もともとこの犯人には医者になれる資質も目指す資格もなかったのだと

思いました。人命を軽んじる者が人命を救うことなどできるわけがありません。

加えて、ニュースでは決して報じられませんが、これからこの事件の刑事裁判・民事裁判が行われる中で、この犯人が罰せられるのみならず、親権者たる保護者に、賠償金やら慰謝料やら課せられ、大変なことになっていくと思います。

犯人の少年は、一時的な感情に押されて短絡的な行動に及ぶことが、家族や親類にどれだけ迷惑をかけ、どれだけ悲惨な目に遭わせるのかということが全く想像できなかつたのでしょうか。

この事件で被害者となり、大学入試が台無しになった人達とその家族、そしてこの事件の加害者の家族にも深い同情を禁じ得ません。

生徒の皆さん、生きていくうえで辛いこともたくさんあります。しかし、あなた方の身の周りにはあなたを支え、応援してくれる人もまたたくさんいるはずですよ。つらいことが起きたら「世の中、自分たった一人なんだ。」と思いがちですが、そんな時こそ周りを見て、自分を支えてくれる人達のことを考え、その人達に弱音を吐いてください。「きついで明日から頑張ろう。」という気持ちになるはずですよ、きっと。

たった一人で頑張り続けるのも勇気ある行為です。しかし、自分の弱さをさらけ出し、助けを求めたのもまた勇気ある行動だと思います。

せつかくいただいたたった一つの命、たった一



【3年生のオンライン授業】

度の人生です。人を恨み、口から出るのは愚痴ばかりの人生と、肩の力を抜いて、家族や友人に囲まれて、笑顔で生きていく人生はどちらがいいか、自明のことです。

高杉晋作も言ったではありませんか。「おもしろきこともなき世を おもしろく 住みなすものは心なりけり。」と。何でも心の持ち方一つです。

## ～ 【 油断なきように 】 ～

南アフリカから広がり始めたオミクロン株がいよいよこの町にも迫ってきたようです。ニュースではこのオミクロン株、感染力はこれまでのデルタ株の数倍に及ぶが、毒性は弱く、風邪をこじらせた時の症状程度で回復する、と報じられていました。しかし別のニュースでは、軽症なのはワクチン接種者のみで未接種者は重症化しやすいとも報じていました。オミクロン株の正体は未だ完全には分かっていないということでしょう。

ただ学校現場にいて、これまで以上に「速い！」ということは実感しています。

しかし予防のための基本はこれまでと全く変わりません。「新しい生活様式」とは何だったかをもう一度思い出し、徹底することしか私達にできることはないと思います。

「三密」を防ぐ、回避する。うがい、手指消毒、換気、マスク着用、これらをこれからも徹底していくしかありません。私の妹は看護師ですが、彼女が帰宅して最初にすることは、手洗い、うがい、そしてシャワーです。これは病院関係者の皆さんが徹底していることだそうです。

保護者の皆様におかれましても、新型コロナウイルスは「油断につけこむウィルス」ということを再度確認していただき、子どもさんにご指導ください。



【出席状況を確認しています】

今日から3年生は高校入試を迎えています。用心のために、3年生は今日、明日を自宅でのオンライン学習に切り替えました。

3年生の皆さん、大変な時期に受験することになり勉強の仕上げと体調管理の両立が難しいと思いますが、無事に乗り切ってほしいと思います。保護者の皆様におかれましても、子どもさんが100%の状態を受験できますように、よろしく願いいたします。